

令和6年度
現職・退職校長 北足立南部支部
教育推進協議会

みどりと文化のハーモニー

『地域学校協働活動の推進』

川口市退職校長会
田代 博人
(川口市放課後子供教室「劇団きざろ」代表)

「川口市青少年ボランティアスクール活動」
～市内中学生と放課後子供教室「劇団きざろ」の活動～



【ミニEnglishタイム】

【宿題タイム】



【言葉調べ】



令和 6年11月19日

はじめ

ボランティア活動の推進

◎ みどりと文化のハーモニー

- 安全・安心な学校・地域づくり
- 子供たちの学びや成長を支援する地域づくり
- 学校を核とした地域づくり=ボランティアが息づく学校・地域
《みんなが できることを できるときに》 (つながり合う・高め合う)

1 学校応援団活動の拡充

・多様な活動をボランティア活動で展開

2 放課後子供教室「劇団きざろ」の充実

3 教育相談ルームの設置

◎ CS協働活動の一体的推進

・各活動の連携と発信

【劇団きざろ・詩を楽しもう】



ボランティアスクール中学生と活動する「劇団きざろ」

川口市青少年ボランティアスクール参加者】



神根中・北中・安行中・付馬中・女子学院

3日間 延べ16名

地域学校協働体制

中学生一言感想

【初めてのボランティアの活動
…工作の時間、小学生の子と教えたり、教えられたり、時々、地域の人との交流は素晴らしいと実感しました。とてもいい経験でした。】

【取り組む姿
…ミニEnglishの時や言葉調べを楽しみながら率先してやっていて凄かったです。宿題タイムの時は分からない問題があっても一緒に考えたり教えたりすれば一生懸命、真剣に取り組んでくれて意欲的でした。
また劇団きざろのみんなと交流できる機会があれば、是非参加したいです。
お世話になりました。】

【中学生ボラと宿題タイム】



地域校協働活動の推進

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO法人、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して学校と地域がパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。(文科省 ホームページより)

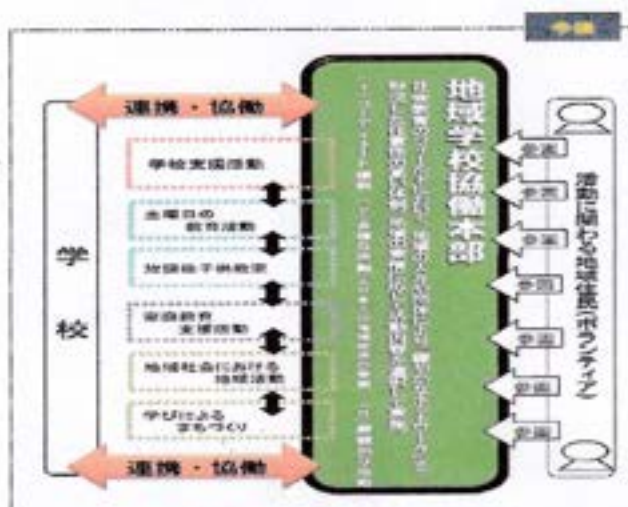


(文科省 ホームページより)

【コミュニティスクールと地域学校協働活動】

CS協働活動を推進するため、CS協働本部を創設し、特に「学校応援団」を拡充する。

本部設立までは学校、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員が具体的推進体制・内容を検討する。



【CS協働本部と地域CS協働活動】

CS協働活動は、「学校応援団」、「放課後子供教室・劇団きぞろ」、「新設する家庭教育支援「教育相談ルーム」」で実施する。

「土曜日の教育活動」
「地域社会における地域活動」
「学びによるまちづくり」
この3つは活動対象としない。

【CS協働活動体制】

本部を創設し、目的・構成等を検討する。

「学校応援団」の拡充では(P T Aの各部をどのように取り入れられるか)検討する。

放課後子ども教室は定着しており継続する。

教育相談ルームを新設し、地域で相談体制を整える。

木曾呂小CS協働本部

(地域学校協働本部)

CS=コミュニティスクール

木曾呂小CSV推進会議

(元 ボランティア推進会議)

教育相談ルーム
(家庭教育支援)

学校応援団
☆文化(読み聞かせ等)
☆学習支援
☆安心・安全
☆環境

放課後子供教室
「劇団きぞろ」

地域子供見守りの日
「通学班の日」(年4回)

1 地域学校協働活動の願い

◎願いの共有化

- 安全・安心な学校・地域づくり
- 子供たちの学びや成長を支援する地域づくり
- 学校を核とした地域づくり=ボランティアが息づく学校・地域
《みんなが できることを できるときに》 (つながり合う・高め合う)

(1) 学校応援団(学校支援活動)の拡充に向けて

児童の心身ともに健やかな成長

○安心・安全な学校・地域づくり

○学習支援・文化活動の充実

○よりよい学習・生活環境づくり

～美しい学校・教室、図書室整理等～

☆目的・計画・振り返りを基にし活動する

☆公教育であり、公正・中立な立場で活動する

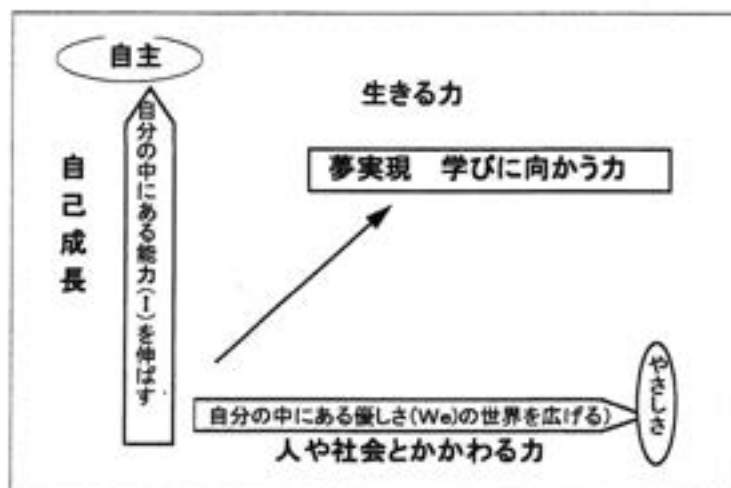
支援・協力

学校応援団は、「登下校見守り」「学習支援」「環境整備」3つのまとまりで活動が定着しており継続する。

P T Aの各部の活動でどの活動が必要か検討する。

目的が明確でない活動は廃止し、必要な活動があれば本部で検討する。

(2) 放課後子供教室「劇団きざろ」活動の充実



「教育再生のシナリオ」 鳴門教育大 久我直人教授

みんなで創る魅力ある劇団

- 学び・活動に向き合う力♡
- 優しさを広げる♡



(3) 教育相談ルームの開設

(家庭教育支援)

- 保護者が安心して利用できる相談ルーム
- 学校や他の機関との連携
- 活動内容・場所・時間等

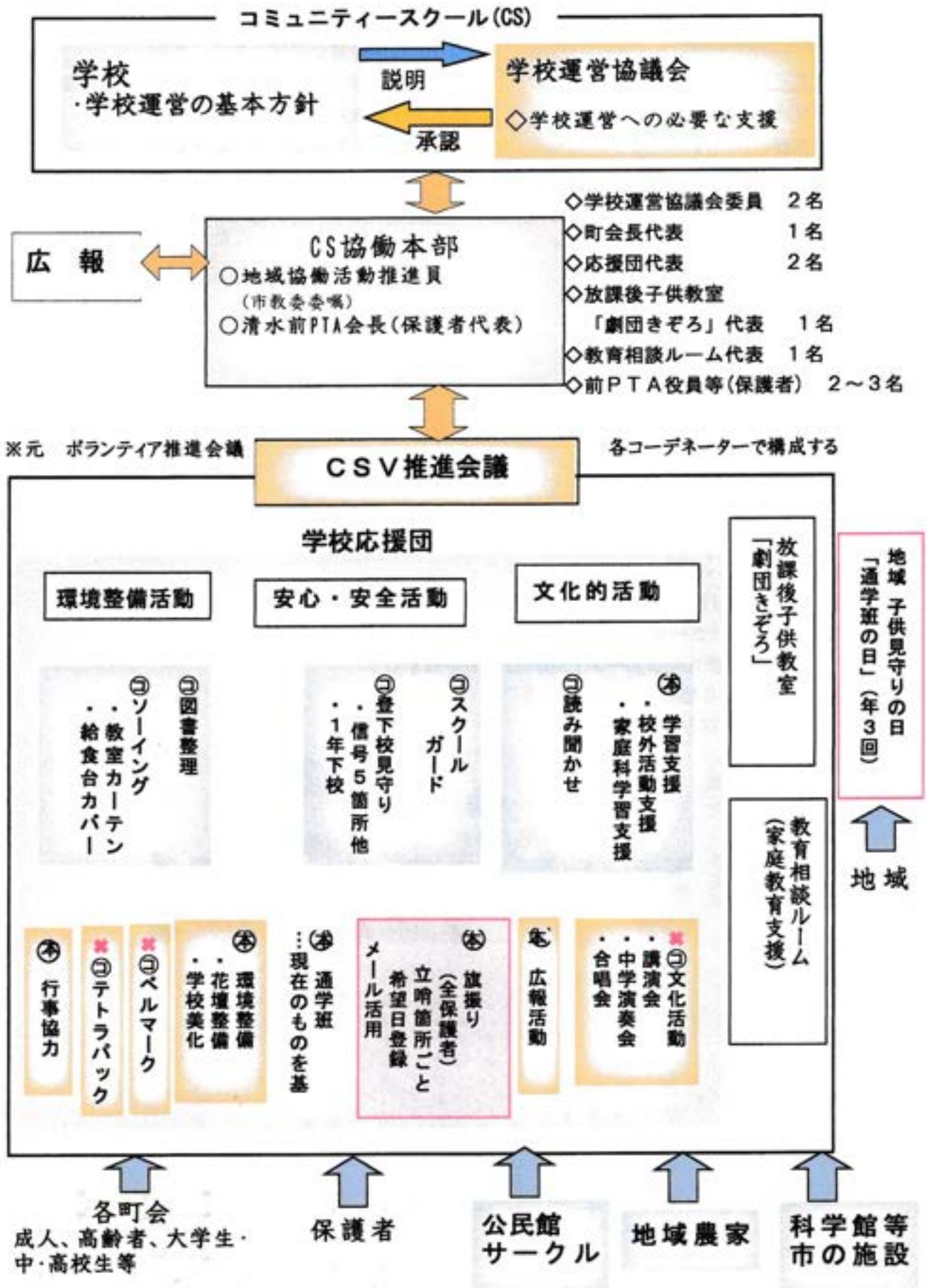
☆不登校・発達障害・学力・人間関係等、相談できる場づくり

☆幼稚園・教員経験者、療育経験者等を中心

☆月末土曜日10:00～12:00(多目的室)



2 CS協働活動推進体制



3 木曾呂小CS協働本部の構成と内容

(1) 活動内容

- ① CSV活動の円滑な推進
- ② 活動協力依頼
 - ・ 旗振り活動 ・ 行事協力
 - ・ 学習支援 ・ 環境整備
- ③ 地域団体・公民館等との連絡・調整
- ④ CSV推進会議の運営
- ⑤ 学校応援団活動の連絡・調整・相談
 - ・ 安心・安全・学習支援
 - ・ 読み聞かせ・環境整備
- ⑥ 広報活動
 - ・ CSV活動内容紹介・活動の様子
 - ・ 学校教育・学習内容・地域情報

(2) CS協働本部の構成

- 学校運営協議会委員 2名
- 地域学校協働活動推進員(市教委委嘱)
- 町会長代表
- ◇ 前PTA役員等 2～3名
- ◇ 学校応援団代表 2名
- ◇ 放課後子供教室「劇団きざろ」代表
- ◇ 教育相談ルーム代表

4 CSV推進会議(元ボランティア推進会議)

- (1) 年度ごとに目標・計画を確認する
- (2) 年間のまとめを行い、次年度の計画に生かす
- (3) 各活動に代表者(コーディネーター)をおき、代表者で推進会議を構成する
「劇団きざろ」「教育相談ルーム」の代表者も参加する
- (4) 必要な相談はCS協働本部委員と行う
- (5) 推進会議は年3回とする



朗読詩 地域シリーズ

はるかな時を越え

赤山陣屋跡から
日光御成街道を渡り
東浦和に続く赤山街道
九百名の子供達の通学路
街道から見える学校

地域の子供劇団の活動の場
「知から 太いダイコン
引き抜いて
自然の叫び 喜びの歌」

「鳥瓜 ハガキにのせて
祖母宛に 大きな文字で
げんきでいてね」

「書の世界 求めて歩む
プロセスを
豊かに語る 英語スピーチ」

赤山街道散歩道は富士塚
見沼通船堀へと続き
広い世界へつながる

5 学校応援団の活動

(1) 今まで活動している学校応援団活動は継続する。

(2) 想定される新しい活動 **本**=本部が保護者に働きかける(ボランティア)

本 旗振り(全保護者)

◇危険箇所 5カ所

対応例 保護者はカレンダー登録
(登録箇所ごと調整、メール活用)

◇旗 全家庭配布

本 通学班

…学校と保護者(現在のものをベース)

本 環境整備

・内容検討、必要な内容は保護者・地域に働きかける
校舎内清掃(ボランティア数でできる範囲)

本 行事協力

◇運動会…会場・自転車盗整理
◇森の音楽会…校庭の駐輪場含め検討

本 広報

CS協働本部・各応援団から発信

◇年間3回(1、2、3学期)+α PDFの活用
◇CSV募集・紹介
◇学校生活、学習活動等

***** ペルマーク テトラパック

・目的・意義が不明
必要な内容は保護者・地域に働きかける

***** 文化教養活動

・ミニ講演会 ・ミニ演奏会 ・歌声教室
・学習講話(国語・算数等)
・習字教室 ・ダンス教室

6 「劇団きざろ」の活動

地域のつながりを広げる

(1) 地域の人材活用

保護者 卒業生保護者 高齢者
大学生 現在(明治大学・文教大学)

(2) 地域農家との関わり

☆ジャガイモ・サツマイモ・ジャガイモの収穫

(3) 公民館サークル、科学館とのつながり

☆絵手紙を描こう(神根公民館サークル)

☆サイエンスショー&科学教室(神根東ふたば教室と合同)

(4) 青少年ボランティアスクール生の受け入れ

(5) 外部講師の招聘

☆退職校長・現職教員等



9月9日(月)

進行(伊藤)

☆宿題タイム ~15:10

◇あいさつ・出席確認(伊藤)

○ミニEnglishタイム(飯出・平井)

○詩の音読「ぶどう」(田代)

休けい

○言葉調べ(久保田)

○県名カルタ作り(三屋)

○考えようタイム(飯出・平井)

○歌「英語の歌」輪唱(伊藤)

◇あいさつ



6 放課後子供教室「劇団きざろ」の活動

1 日程

14:40

会場へ集合
ランチルーム

15:00

【放課後子供教室】
出席確認 活動

17:00

終了会場から帰宅
(※保護者に引き渡し)

2 活動

【言葉調べ】



【詩の音読】



【大学生とミニEnglishタイム】



【タブレット活用】



【ジャガイモ掘り】



【県名カルタ】



【考えようタイム】



3 開催日時・予定及び活動内容

月曜日 下校 14:40~17:00

土曜日・夏季・冬季休業日 10:00 ~12:00

☆ミニEnglish

☆言葉調べ

☆詩を楽しもう・ことわざ・シナリオ

☆算数 考えようタイム

☆県名の旅・カルタ作り

☆サイエンスショー・科学教室(科学館と連携)

☆絵手紙教室(公民館サークルと連携)

○ジャガイモ・サツマイモ・大根収穫(地域農家)

☆英語でshopping ☆夏休み宿題教室

☆書き初め練習

4 年間活動日数

33回 (1学期 4月15日から12回、2学期 16回、3学期 5回)

5 参加児童・運営スタッフ

参加児童 1年~6年20名(1年2名、2年3名、3年3名、4年3名、5年8名、6年1名)

スタッフ 13名(高齢者2名、保護者4名、PTA会長・社会人5名、大学生2名)

6 活動場所 多目的室

7 その他



あとがき

子供・保護者・地域がつながり、創る世界

『何かをなす時、効果はない。コツコツがコツ』と言う先輩がいます。学校教育も地域学校に関わる「CS協働活動」も同様ですが、組織を立ち上げなければ何も変わらず変化も生まれません。

ある校長先生から「放課後子供教室と学力向上をつなげられないか。」という話があり、2年生を対象に募集し17名の参加者で立ち上げ、現在に至っています。校長先生は異動されましたが「放課後子供教室」は継続し「宿題・読み・書き・計算」を継続しています。地域に大きな宝物をいただきました。

(短歌「音読の宿題長き物語 読み終えた子のため息も聞く」)



人・地域・社会の関わりの中の「ステキな世界」

【国語研究・川口「まなびの会」】



【朗読詩 自分の読みで伝える】



【個別最適な学びと】

協働的な学びの一体的指導】

個別最適な学びをつくる

学び手としての自立 3つのポイント

- 1 ノートをオリジナルにする
(ワークシートから卒業)
- 2 全体・個の課題を明確にする
・課題の選択
・学習形態の選択
・表現活動の選択
- 3 学習課題を持ち選択する



朗読詩 地域シリーズ
庭の楓
洲浜 昌三

遠い日 あなたがくれた
指ほどのカエデ
子供たちを追い越し
ぼくを追い越し
いつの間にか
屋根を超えた
ここは大地にあらず
ちつばけな庭

のびのびと枝葉を広げ
気ままに枯葉をまき散らし
まだ大空へ伸びていく
あなのあしがれのままだに
カエデは、ここで
巨木になるのだろうか

たからもの
からすえいぞう

きらきら
かがやくものが
すきです

みつけたら
だいじに
もちかえり
たからものになります

ああきょうの
ゆうやけは
とびきりの
きらきらだ

でも
もってかえれないから
こころのなかに
しまっておこう